

○「交通軸上市街地集約型*」のまちでは

- ・通勤・通学には便利なバスや鉄道が使えます。
- ・ふだんの生活での最寄り品・買回品の買物には、身近な拠点にある店舗やスーパーに徒歩や自転車で行くことができます。
- ・季節商品など買回品・専門品などの買物には、より大きな拠点・都心部にある百貨店やショッピングモールへ、鉄道・バスで行くことができます。
- ・自動車を使えない高齢者などの方々も、便利なバス・鉄道を使って、ご自身でまちなかへラクラクでかけることができます。



○こういった利点・効果が期待されます。

- ・自動車に依存した移動が減り、渋滞が緩和されるほか、沿道交通公害やCO₂排出量などが減少して、環境にやさしい交通になります。
- ・主に徒歩や自転車で移動することができ、健康的な生活を送れます。
- ・まちなかに老若男女いろいろな人が多く集まり、にぎわいが戻ってきます。
- ・鉄道・バスの利用が増え、運賃収入も増加し、路線の維持もしやすくなります。

◎以上のようなまちづくりを進めるしくみを、次のような施策に取り組みながら整えていきます！

○都市計画マスタープランにより、市街地拡大の抑制に努めます。

○地元県民・市民や企業の方々と一緒に活動するまちづくり協議会の組織化や、その協議会が行う計画づくりを支援します。

○鉄道・バスの便利なまちなかへの住み替え、住環境の改善につながる建て替えを誘導します。

◎県民・市民のみなさんも、「鉄道・バスが便利なまちなかに住む」新しいくらしに変えてみませんか？

